

あらゆる人が迷わず動ける ナビアプリを実際の施設で開発。

複合商業施設を迷わず動けるよう、スマホナビゲーションアプリを開発。GPSではなくカメラによる自己位置推定とAR(拡張現実)機能によるナビゲーションで、屋内でも便利に使えます。迷わないのはもちろん、ベビーカーや車いすユーザーに安全な経路、災害時の避難経路提示などの機能も。これも、住みやすいまちのありかたを提案する「都市計画」研究の一つ。人々の暮らしやすさに大きく貢献します。

中原さん 大学院工学研究科 建設システム開発(古賀専攻)
修士課程2年生 熊本県/東陵高校出身

地道な作業を乗り越え より良い都市づくりに。

日本が増えている中心市街地の活力低下、災害対策問題に貢献したいと始めた研究。実際に熊本の本バスセンターが入った複合施設のナビアプリを作りました。現地での空間を3Dスキャンしたものに大量の案内用ポイントを打ち込む作業は繊細で地道な作業ですが、研究室の仲間や先生と一緒に頑張った達成感は大いです。街案内などにも応用して、よりよい暮らしに貢献できればと思います。

